

(速報情報)

(平成30年11月20日19時発表)

主な船舶海難(11月19日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時		海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ(m)	トン数(t)	概要	乗船者数	死者・行方不明者数
1	11月19日	05:15頃	鹿児島県奄美大島沖	漁船	中国	—	—	沈没	8	5
2	11月19日	13:40頃 (情報入手時刻)	福岡県北九州市沖	漁船	日本	12.25	9.1	漂泊中のプレジャーボートと航行中の漁船の衝突	1	0
				プレジャーボート	日本	8.39	—		3	0
3	11月19日	15:13頃 (情報入手時刻)	山口県宇部港内	漁船	日本	—	4.8	航行中の漁船と錨泊中のタンカーの衝突	1	0
				タンカー	韓国	—	732		11	0
4	11月19日	19:43頃 (情報入手時刻)	島根県隠岐の島町沖	漁船	日本	—	0.87	作業中の転覆	1	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、船舶海難によって発生した人数です。

※調査中の事項は「—」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下

03-3591-6361(内線6501)

03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

漁船が操業中に転覆した際、船長が海中転落し、低体温症となる事故が発生しています。

漁船の転覆事故の原因の多くは、横波によるものです。

事故を防止するため、荒天時は横波を受けないよう注意して航行しましょう。また、発航前に「海の安全情報」等で航行予定海域の最新の気象・海象情報を入手するとともに、天候の悪化が見込まれる場合は、出航の取り止めや早めの帰航を心がけましょう。

「海の安全情報」(スマートフォン用サイト) <https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>

(速報情報)

(平成30年11月19日19時発表)

主な船舶海難(11月16～18日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時		海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ (m)	トン数 (t)	概要	乗船 者数	死者・行方不 明者数
1	11月16日	06:25頃	兵庫県赤穂市沖	貨物船	日本	—	358	錨泊中の貨物船と航行中の 漁船の衝突	6	0
				漁船	日本	—	4.9		1	0
2	11月16日	12:20頃 (情報入手時刻)	宮城県金華山沖	漁船	日本	約15	14	機関故障による運航不能	8	0
3	11月16日	17:00頃	山口県下関漁港内	旅客船	日本	—	11	航行中の機関室からの火災	7	0
4	11月18日	09:05頃	香川県小豆島町沖	プレジャーボート	日本	5.09	—	機関故障による運航不能	3	0
5	11月18日	17:40頃 (情報入手時刻)	鹿児島県南さつま市 沖	漁船	日本	5.89	0.9	出航後の行方不明	1	1

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。
※死者・行方不明者は、船舶海難によって発生した人数です。
※調査中の事項は「—」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下
03-3591-6361(内線6501)
03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

錨泊中の貨物船と航行中の漁船の衝突事故が発生しています。
衝突事故の原因の約6割は、「見張り不十分」によるものです。
事故を防止するため、常に周囲の「見張り」を徹底し、早めの避航動作をとりましょう。

「衝突事故に注意」

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20180914_syoutotu.pdf

(速報情報)

(平成30年11月16日17時発表)

主な船舶海難(11月15日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時		海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ (m)	トン数 (t)	概要	乗船 者数	死者・行方不 明者数
1	11月15日	00:27頃 (情報入手時刻)	熊本県長洲町沖	小型船	日本	-	-	係留索を誤って解らんしたことによる漂流	1	0
				小型船	日本	7.8	-		0	0
2	11月15日	09:36頃 (情報入手時刻)	石川県輪島市沖	漁船	日本	-	-	日本漁船と韓国漁船の衝突	8	0
				漁船	韓国	-	-		13	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。
※死者・行方不明者は、船舶海難によって発生した人数です。
※調査中の事項は「-」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下

03-3591-6361(内線6501)

03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

漁船同士の衝突事故が発生しています。
衝突事故の原因の約6割は、「見張り不十分」によるものです。
事故を防止するため、常に周囲の「見張り」を徹底し、早めの避航動作をとりましょう。

「衝突事故に注意」

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20180914_svoutotu.pdf

(速報情報)

(平成30年11月15日17時発表)

主な船舶海難(11月14日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時	海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ (m)	トン数 (t)	概要	乗船 者数	死者・行方不 明者数
主な船舶海難の発生はありませんでした。									

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、船舶海難によって発生した人数です。

※調査中の事項は「—」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下

03-3591-6361(内線6501)

03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★【自船の安全確保3か条】

船舶海難のうち、小型船舶(プレジャーボート・漁船・遊漁船)の海難が約8割を占めています。

小型船舶の船長は、以下の3つの事項を実践して、自船の安全を確保しましょう。

【自船の安全確保3か条】

- 1 発航前、機関や燃料等の点検の実施
- 2 航行時、常時見張りの徹底
- 3 故障時に備え、救助支援者の確保

「自船の安全確保3か条」

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20180327_anzenkakuho.pdf

(速報情報)

(平成30年11月14日13時発表)

主な船舶海難(11月13日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時		海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ (m)	トン数 (t)	概要	乗船 者数	死者・行方不 明者数
1	11月13日	10:00頃	千葉県富津市沖	プレジャーボート	日本	6.70	—	航行中の浅瀬への乗揚	4	0
2	11月13日	12:30頃	宮城県気仙沼市沖	漁船	日本	7.33	1.3	海水の打ち込みによる浸水	1	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、船舶海難によって発生した人数です。

※調査中の事項は「—」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下

03-3591-6361(内線6501)

03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

プレジャーボートの乗揚事故が発生しています。

乗揚事故の多くは、「見張り不十分」、「船位不確認」、「水路調査不十分」などが原因です。

事故を防ぐため、事前の水路調査を徹底し、航海中は、常時適切な見張りを実施するとともに、

海図やGPSなどを適切に使用して自船の位置を確認しましょう。

「乗揚事故に注意」

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/noriage.pdf>

(速報情報)

(平成30年11月13日16時発表)

主な船舶海難(11月12日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時		海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ(m)	トン数(t)	概要	乗船者数	死者・行方不明者数
1	11月12日	05:08頃 (情報入手時刻)	大分県佐伯市沖	遊漁船	日本	13.29	9.1	航行中の浅瀬への乗揚	9	0
2	11月12日	15:05頃 (情報入手時刻)	島根県松江市沖	プレジャーボート (ミニボート)	日本	約3	—	釣り中の浸水・転覆	2	0
3	11月12日	13:05頃	愛知県田原市沖	貨物船	日本	—	199	航行中の貨物船と航行中の漁船の衝突	4	0
				漁船	日本	—	4.03		1	0
4	11月12日	20:45頃 (情報入手時刻)	北海道納沙布岬沖	漁船	日本	32.3	188	機関故障による運航不能	12	0
5	11月12日	22:32頃 (情報入手時刻)	三重県志摩市沖	貨物船	日本	—	499	機関故障による運航不能	6	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、船舶海難によって発生した人数です。

※調査中の事項は「—」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下
03-3591-6361(内線6501)
03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

遊漁船の乗揚事故により8名の負傷者が発生しています。
乗揚事故の多くは、「見張り不十分」、「船位不確認」、「水路調査不十分」などが原因です。
事故を防ぐため、事前の水路調査を徹底し、航海中は、常時適切な見張りを実施するとともに、
海図やGPSなどを適切に使用して自船の位置を確認しましょう。

「乗揚事故に注意」

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/noriage.pdf>

(速報情報)

(平成30年11月12日20時発表)

主な船舶海難(11月9～11日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時		海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ (m)	トン数 (t)	概要	乗船 者数	死者・行方不 明者数
1	11月9日	00:31頃 (情報入手時刻)	愛媛県伊方町沖	プレジャーボート (ヨット)	日本	13.8	—	機関故障による運航不能	2	0
2	11月9日	07:50頃 (情報入手時刻)	青森県外ヶ浜町沖	貨物船	ベリーズ	88	1989	舵故障による運航不能	14	0
3	11月9日	11:47頃 (情報入手時刻)	三重県志摩市沖	遊漁船	日本	8.46	—	大雨による船位喪失	3	0
4	11月9日	16:15頃 (情報入手時刻)	岩手県宮古港内	漁船	日本	—	19	係留中の火災	6	0
5	11月9日	16:37頃 (情報入手時刻)	沖縄県渡嘉敷村沖	プレジャーボート	調査中	調査中	調査中	機関故障後の転覆	8	0
6	11月10日	12:10頃	福岡県北九州市沖	その他	日本	—	2.79	転覆	3	0
7	11月10日	22:20頃 (情報入手時刻)	福岡県糸島市沖	プレジャーボート (カヌー)	日本	約6	—	無人漂流	1	1

番号	海難発生日時		海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ (m)	トン数 (t)	概要	乗船 者数	死者・行方不 明者数
8	11月11日	13:10頃 (情報入手時刻)	山口県下関市沖	遊漁船	日本	10.24	4	航行中の遊漁船と釣り中の プレジャーボートの衝突	7	0
				プレジャーボート	日本	6.21	—		3	0
9	11月11日	15:33頃	愛媛県松山市沖	プレジャーボート	日本	—	3.6	釣り中の乗揚	1	0
10	11月11日	15:40頃	長崎県松浦市沖	旅客船	日本	—	162	旅客船とプレジャーボート の衝突	4	0
				プレジャーボート	日本	7.14	—		2	0
11	11月11日	21:38頃	島根県益田市沖	漁船	日本	6.14	1.5	航行中の岩礁への乗揚	2	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、船舶海難によって発生した人数です。

※調査中の事項は「—」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 首席海難調査官 大下
03-3591-6361(内線6501)
03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

船舶の衝突事故により負傷者が発生しています。

衝突事故の原因の約6割は、「見張り不十分」によるものです。

事故を防止するため、常に周囲の「見張り」を徹底し、早めの避航動作をとりましょう。

「衝突事故に注意」

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20180914_syoutotu.pdf